

経費は約1億円余と試算している。市の財政状況と多種多様な行政ニーズを踏まえ、県の助成基準に沿って実施していきたい。

その他の質問事項

- ・がん対策について
- ・病児保育について
- ・マタニティステッカーについて
- ・市営住宅について

山 田 きよし 議員
(緑風会)

飲料水兼用耐震性貯水槽設置について

問 以前も質問した飲料水兼用耐震性貯水槽は市内11箇所設置。地区によっては複数設置もあるが、3080世帯7550人居住の豊田地区内に2箇所の二次避難所には未設置。外国では16日間水とビスケットで生き抜いた実例もある。災害時に大切な飲料水の確保が必要と考えるが。

答 豊田小学校への飲料水兼用耐震性貯水槽の設置については小学校前の県道茂原環状線に布設されている水道管の口径が500㎜と大きいため、設置が困難であった。周辺地区の水道管ルートの再検討による管径変更を行うことで技術的には可能と分かったが、非常に多額の財政負担を生じるため、引き続き他の方法も含め検討していきたい。

消防機庫建て替えについて

問 長尾地先の消防機庫は郡市108棟の内4番目に古い。前面道路の幅員も狭く急カーブで、私の32年間の団員歴で団員に関連する交通事故が3回発生。幸い大事に至らなかったが、危険と背中合わせの前面道路の拡幅と過去2回質問した消防機庫の建て替えについて伺う。

答 市道1級14号線長尾地先の道路改良工事については昨年度から事業を再開したが、用地価格等での合意が得られず、交渉が難航している状況である。橋神社用地については協議を重ね了解が概ね得られたので、現在契約に向けた事務を進めている。消防機庫については神社敷地内の用地確保が難しいことから、地元消防団、長生郡市広域市町村圏組合消防本部と移転先についての協議を行ってきた。その結果、ゆたか土地地区画整理組合事業地内へ移転することで合意し、6月から現地調査及び設計、10月から建設に着手し、年度内に完了する予定である。

その他の質問事項

- ・総合市民センターの耐震性とポランティアセンター設置・運営マニュアルについて
- ・二次避難所開設について
- ・川代踏切拡幅について
- ・市道5071号と大橋架け替えについて

竹 本 正 明 議員
(絆(きずな))



少子高齢化対策について

問 本市は少子高齢化の先頭にある。人口9万1千人余で15才まで1万人余(12%)、65才以上が2万4千人余(26%)となっている。30年後は人口6万人台との試算もある。この状況をどう改善していくのか。今後の対策、取り組みをどう考えているのか。

答 子育て支援については次代を担う子どもを生み育てやすい環境づくりが重要であり、幼保連携型認定こども園の推進を含めた子ども・子育て支援事業の実施に向け検討していきたい。

給食費の無料化等について

問 本市における少子化の解消の一つとして他市より充実した子育て支援で安心して暮らせる環境を作る事である。その為の施策として小中学校の給食費の無料化に取り組みべきである。また、児童保育を担っている無認可保育所への公費補助を考えてはどうか。